

緑のまきば

1998 No.30

小金井緑町教会
 小金井市緑町四十六三三
 電話〇四三三八一七九六一
 編集・牧師 山畑謙

説教 「召命」



山畑 謙

「召す」な
 どという言
 方は決して一
 般的ではなく、
 「召命」とい

言葉もキリスト教独特の特殊な用語と言えるでしょう。何でも分かりやすくしようとする現代の風潮に逆行するようですが、この古めかしい言葉を大切にしていきたいと願います。

本年四月一日より小金井緑町教会の牧師として山本圭一牧師よりそのバトンを受け継ぎました。「緑のまきば」(二十九号)に山本牧師は辞任の言葉として、アブラハムの召命の記事を引用なさいました。牧師の交代という時は、教会としても様々なチャレンジを受ける時であり、自ずと変わっていく部分もありますが、

なおそこに変わらないものもあります。その大切な一つの事は、神に召されて私たちはあるという召命感です。

イスラエルの民を奴隷状態にあつたエジプトから導き出したモーセも召命を受けました。彼は特異な人生を歩みまです。エジプト王のイスラエルの民弾圧の下に生まれながらも王女に拾われて王宮で育ち、成人してイスラエルの民の一員である自覚を持ったかと思うと仲間にも信用されずに挫折し、エジプトから逃亡しなければなりません。逃亡先で羊飼いとなって四〇年が過ぎた時、突然神と出会いがあり、そして召命を受けたのです。

モーセは羊を追って神の山ホレブに来た時に、燃えているのになくならない柴を発見します。不思議に思つて近づ

くと、「モーセよ」と呼ぶ声がします。神は彼を呼び、御自身を「あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」と言つて現しました。そしてイスラエルの民を救うべくエジプトへ行くようにと命じられます。モーセは「イスラエルの人々にその神の名は何とのかと聞かれたらどう答えたらよいでしょう」と尋ねると、神は「わたしはある」という名の方だと答えよ」と言われました。

「私はある」とは、あなたと共にいるものであるという内容です。「わたしはある」という方がモーセを召し出した。イスラエルの民救出の使命と共に。

主イエス・キリストは言われました。「あなた方がわたしを選んだのではない。私があなたがたを選んだ。」(ヨハネ一五・一六) 召命とは選ばれる事、特別に選ばれたれ使命を与えられる事です。私たち一人一人、主イエス・キリストとの出会いを与えられ、召されてある事を今一度心に刻んで、前進していきたいと願います。主の召しは、教会への召しでもあります。

私は小金井緑町教会というキリストの体なる教会に召されたく。それは牧師だけの事柄ではなく、信徒一人一人、またそこに出会いを与えられている求道者一人一人も等しく覚えなくてはならない事です。

使徒パウロが言いましたように、私たちはまことに「土の器」にすぎず、愚かでもろい存在であります。しかしその土の器に宝を頂いているのです。それは「並外れて偉大な力が神のものであつて、わたしたちから出たものではないことがあきらかになるため」(二コリント四・七) でした。モーセを召し給うた神は、インマヌエル(神共にいましたもう)という名の御子イエスの十字架と復活をとおして、私たちをも教会に召し、神に栄光を帰すという使命を与えられます。そこにある深い憐れみと慈しみを感謝しつつ、その支えの御手をさしのべてくださる事を信じて、託された使命に励んでいきましょう。